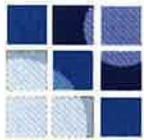




山崎製パン(株)横浜第一工場 環境への取組み





飼料化と食品リサイクルループ



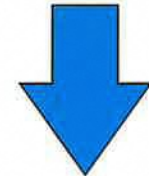
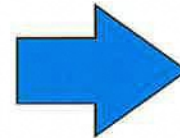
① 製造工程で発生した副産物や
製品ロス

◆パンの耳は全て飼料化していますが、
更にもう一步進めた取組みとして、パン耳
由来の飼料で育った豚の肉を使用した
メニューを従業員食堂で提供しています。



② 養豚業者が回収・飼料化

『食品リサイクルループ』



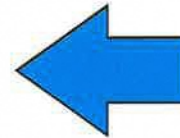
④ 従業員食堂で提供

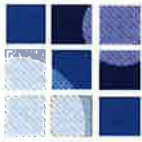


③ 美味しい豚肉に加工

■ (株)スーパーヤマザキで
食品リサイクルループを構築する
「エコニコポーク販売」







廃棄物の分別 (24品目に細分化)

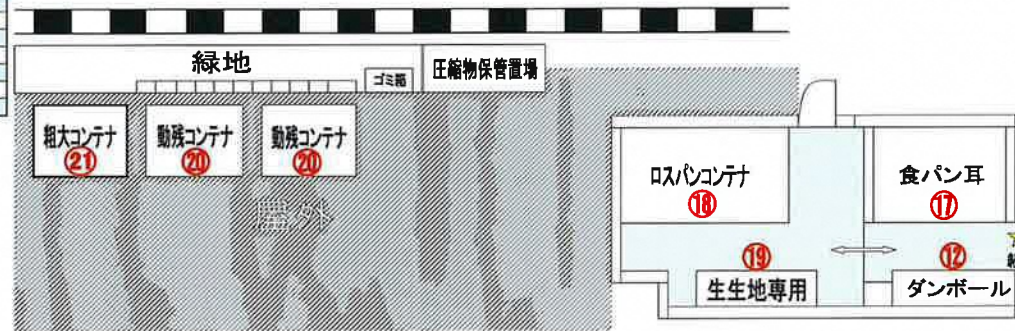
◆横浜第一工場では廃棄物を24品目に細分化し、各ゴミ箱には分かり易く写真と番号を掲示しています。

◆また、従業員教育にも力を入れており、環境推進会議や新入社員研修等、様々な機会を通して従業員の意識の向上を図っています。

<リサイクルセンター内部>



<リサイクルセンター外部～リサイクルセンター内部>



各事務所ゴミ箱



⑭ 事業系一般

(生ごみ・雑多な細かいごみ)
袋の色: 半透明



- 【捨てられる物】
- ペーパー類(使用済)
 - ティッシュペーパー(使用済)
 - 複写式伝票
 - ジュースパックごみ
 - 折り紙
 - 紙製容器ごみ
 - スチール製容器
 - 生ごみ

ココに捨ててはダメ!!

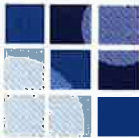


プラスチック・ビニル類 ミックスペーパー マスク

リサイクルセンター排出場所



ごみ箱と捨て場所の番号がリンクしています



廃棄物の分別

共有部分・各事務所ゴミ箱

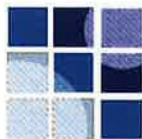


事務所内
全てのゴミ箱に掲示



リサイクルセンター





従業員教育

環境推進会議・環境パトロール（中堅社員対象）

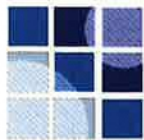


資源循環局様による分別講習（新入社員研修）



工場見学・製品提案会での情報発信（来工者・販売店様向け）





グリーン購入の推進

横浜第一工場ではグリーン購入の推進を積極的に行っています。
特に消耗頻度の高い事務用品については専用の発注書を各部署に配付し、工場全体でグリーン購入による環境への配慮に取り組んでいます。

【アスкул テプラーテープ】

ラベル色	文字色	6ミリ	9ミリ	12ミリ	18ミリ	24ミリ	36ミリ
白	黒文字	331-550	330-507	330-624	330-928	330-759	330-690
黄	黒文字	330-178	330-481	330-675	330-719	330-374	320-637
赤	黒文字	330-189	330-301	330-629	330-347	330-385	320-678
青	黒文字	330-294	330-472	330-666	330-900	330-491	320-602
緑	黒文字	330-285	330-310	330-638	330-656	330-427	320-699
透明	黒文字	311-651	330-546	330-693	330-237	330-768	320-649
透明	白文字	-	-	332-736	319-870	-	-
単位		¥714	¥714 (白は¥696)	¥1,002	¥1,002 (白は¥975)	¥1,431	¥1,431 (白は¥1,376)


このマークが付いている商品はグリーン購入対応商品です。
グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に
環境を考慮して、必要性をよく考え、
環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。

納品は、平日注文日曜日納品。
土・日・祝日は翌営業日の夕方納品なので注文してお！
当日出荷はできません！！各課在庫管理をお願いします。

文具注文申請書には、

- ① 発注先
- ② 発注コード
- ③ 数量
- ④ 金額
- ⑤ 合計金額

を必ず記入してお！

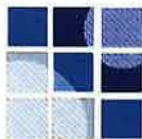


◆グリーン購入とは？

製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること。購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていく可能性を持っています。

【事務用品 225品中約60%がグリーン購入】





3R優良事業所認定

平成28年度から4年連続で横浜市より『3R優良事業所認定』を頂く事ができました。
今後も企業の見本となるよう環境問題に取り組んで参ります。



横浜環境教育資料

令和元年 11月7日
資源循環部 環境対策課

令和元年「横浜市食の3Rきら星活動賞」について

1 目的
本市では、食品廃棄物の発生抑制、再利用率及び燃費等で、地の理に適った取組を行い、豊富な資源を効率的に活用することを目的として、本市の食の3Rを推進しています。このたび、地の理に適った取組を行っている、食の3R推進を奨励します。

2 各部門の受賞者と主な取組
【衛生対策部門】株式会社VVCケンウッド本社・横浜事業所
事業所内の社員食堂で、コロナ前10時時点での入館人数をもとに給食量を調整し、食べ残しを最小限に留め、賞状には野菜の皮や骨ごとを堆肥として飼料用土を製成し、更に賞状員に対してアンケート（メニュー・味・量など）を実施するなど、様々な工夫を凝らして取り組んでいます。
さらに、事業所内コンビニエンスストアで月に約10kg発生する「ローテーブル」を業務内で活用し、業務内対応で使用するなど、様々な方法で食品廃棄物の発生抑制を行っています。



＜社員食堂での取組＞



【資源活用部門】山崎製パン株式会社横浜第一工場
食品の発生抑制で発生した、食パンの皮などを有効利用し、「もったいないプロジェクト」といった新たな食品を生み出すことにより、食品廃棄物の発生を最小限に留めています。また、どうしても発生してしまう食品残は、賞状員が回収して飼料にし、「エコエコゴーフ」というブランド名としてグループ会社のスーパーマーケットで販売されたり、工場内の従業員食堂でその残りを活かした給食を提供するなど、「食品リサイクルグループ」が構築されています。さらに、廃棄物発生量が減少し、削減効果が顕著なため、平成30年度から3年連続で賞状員としてリメイクスするなど、地の理に適った取組となっています。

【賞状部門】生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ
「もったいないプロジェクト」を展開して、インターネット限定「産地いきいきショップ」での産物品や調味料の専売展開、作立した食料を無駄なく使いこめるための食料管理ができるスマートフォンアプリ「まめりん」をリリースするなど、様々な手段で食品ロス削減につながる取組を行っています。また、賞状員と連携し、賞状員が産物の産地を調査し、食品ロス削減ワークショップへの参加や、地元産品を活用した商品の開発などの取組も実施し、賞状員と連携して取り組んでいます。

昨年は3Rきら星賞も受賞！

